

J-web

**SPF・DKIM・DMARC
設定方法について**

2026 年 8 月版

SPF 設定について

SPF (Sender Policy Framework) とは、電子メールの送信元ドメインが詐称されていないかを検査し、送信メールの改ざん・なりすましを防ぐ技術です。

SPF レコードは、送信元メールサーバーの情報をあらかじめメールの送信に使用するドメインに対して登録しておくことで、送信元ドメインの信頼性を保証する仕組みをもちます。

J-WEB では、独自ドメイン追加時に SPF レコードを自動で追加しております。
そのため、独自ドメインに対してお客様ご自身で SPF 設定を追加していただく必要はございません。

※別サーバーを経由するサービス（メールフォームやメールマガジンなどのメール配信サービス等）を利用する場合は、既存の J-WEB の SPF に追加の形で編集してください。

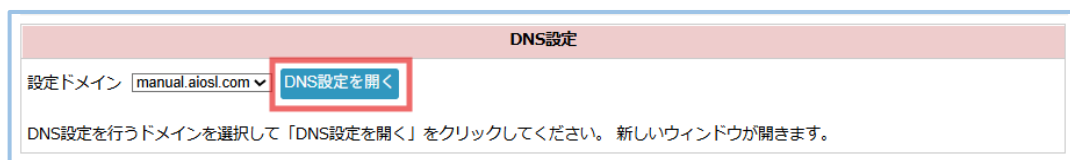
SPF レコードの記述に関する注意事項

- SPF レコードの詳細な記述に関してはサポート対象外となります。
- 1 つのドメインに対し 2 行以上の SPF レコードを設定された場合、正常に動作しません。
複数の SPF レコードが必要である場合は、1 行で記述してください。
- SPF レコードの設定は、弊社ネームサーバーを利用しているドメインのみ有効です。

◇ SPF の設定方法（複数の SPF レコードを設定する場合）

1. 「DNS 設定」をクリック

ドメイン管理画面にログインし、「DNS 設定」をクリックしてください。
「DNS 設定を開く」から設定・編集画面を開きます。



2. 既存の SPF の「変更」をクリック

「変更」をクリックして、画面右上の編集画面に追加する値を入力してください。

対象	ホスト名	レコード	TTL	内容
変更	manual.aiosl.com	MX	10800	10 srv7mx.ssl.aiosl.com.
変更	manual.aiosl.com	A	10800	210.129.90.166
変更	manual.aiosl.com	TXT	10800	"v=spf1 +ip4:210.129.90.0/23 ~all"
変更	*.manual.aiosl.com	A	10800	210.129.90.166
変更	localhost.manual.aiosl.com	A	10800	127.0.0.1
変更	mail.manual.aiosl.com	CNAME	10800	srv7.jnetstation.com.
変更	www.manual.aiosl.com	A	10800	210.129.90.166



【TXTレコードの変更】

ホスト名

TTL

内容

例： J-web サーバーと Google Workspace を併用する場合
 下記のように半角スペースを挟んで追記してください。

内容

「変更する」をクリックして更新します。
 設定値が下記のように反映されているか確認をしてください。

対象	ホスト名	レコード	TTL	内容
変更	manual.aiosl.com	TXT	10800	v=spf1 +ip4:210.129.90.0/23 include:_spf.google.com ~all

DKIM 設定について

DKIM (DomainKeys Identified Mail)は、電子メールにおける送信ドメイン認証技術の一つであり、メールを送信する際に送信元が電子署名を行い、受信者がそれを検証することで、送信者のなりすましやメールの改ざんを検知できるようにするものです。

一度設定を実行すると署名鍵が作成され、DKIM 用公開鍵が表示されます。
当サービスの DNS サーバーをご利用の場合は DNS レコードの登録も自動で行われます。

＜他サービスの DNS サーバーをご利用の場合＞

「送信メールへの DKIM 署名を有効にする」にチェックを入れて設定変更しても、エラーになりそのままでは有効になりません。

一度設定を実行した後に「DKIM 用 DNS レコード」の内容をご利用の DNS サーバーに登録してください。

DNS サーバーへの登録後、10 分以上経過してから再度実行してください。

DKIM に関する注意事項

- メーリングリストでの転送は From を書き換えないため、DKIM/DMARC は対応していません。
- 256 文字を超える長い TXT レコードは、255 文字以内になるようにダブルコーテーションで分割して登録する必要があります。

◇ DKIM の設定方法

1. 「セキュリティ」をクリック

ドメイン管理画面にログインし、「セキュリティ」をクリックしてください。



2. 「送信メールへの DKIM 署名を有効にする」にチェック

ページ最下部の「メールへの DKIM 署名機能の設定」を確認します。

「送信メールへの DKIM 署名を有効にする」にチェックを入れて、「設定を変更」をクリックしてください。

A screenshot of a settings page titled 'メールへのDKIM署名機能の設定' with a help icon. It contains a checkbox labeled '送信メールへのDKIM署名を有効にする' which is checked and highlighted with a red rectangle. Below it is a text input field labeled 'DKIM用DNSレコード'. At the bottom right is a button labeled '設定を変更' which is also highlighted with a red rectangle.



ページ上部に「☆ DKIM 署名を有効にしました。」が表示されることを確認してください。

☆DKIM署名を有効にしました。

※設定が完了すると「DNS 設定」にも自動的に反映されます。

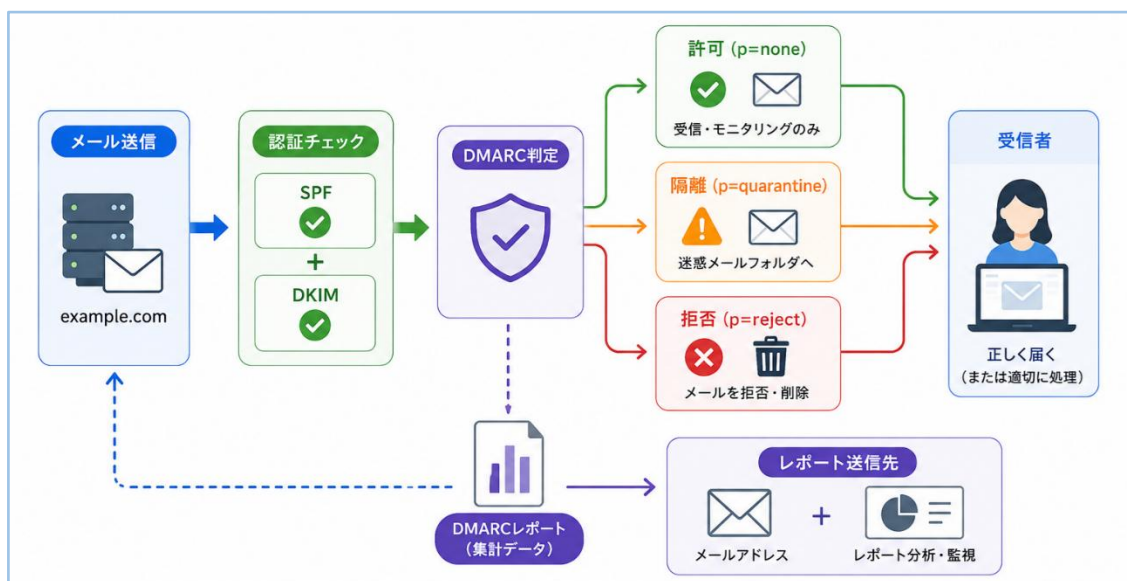
DMARC 設定について

DMARC（ディーマーク：Domain-based Message Authentication, Reporting and Conformance）とは、SPF や DKIM の認証結果に基づきメールに表示された送信元（ヘッダーFrom）ドメインから“正規に送信されたメールであるかどうか”を認証する、送信ドメイン認証技術です。

DMARC は「SPF」と「DKIM」という2つの送信ドメイン認証技術を基盤として機能します。SPF と DKIM から得られた結果をもとに、そのメールの取扱いをどうするか決めることができます。SPF と DKIM だけでは、認証失敗時の最終的な処理は受信側に委ねられていました。それに対し、送信者がその処理方針（ポリシー）を指定できるようにしているのが DMARC です。

設定する際は、「SPF」と「DKIM」の設定が完了しているのを確認してから行ってください。

DMARC 運用のイメージ



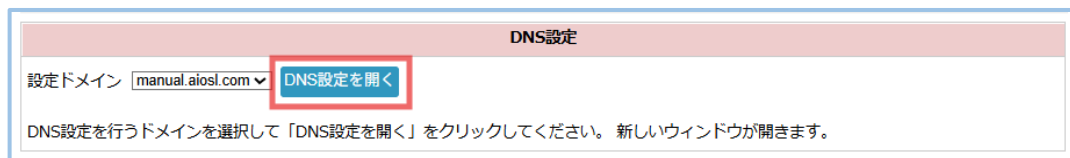
DMARC に関する注意事項

- メーリングリストでの転送は From を書き換ええないため、DKIM/DMARC は対応していません。
- DMARC の運用についてはサポート外となります。

◇ DMARC の設定方法

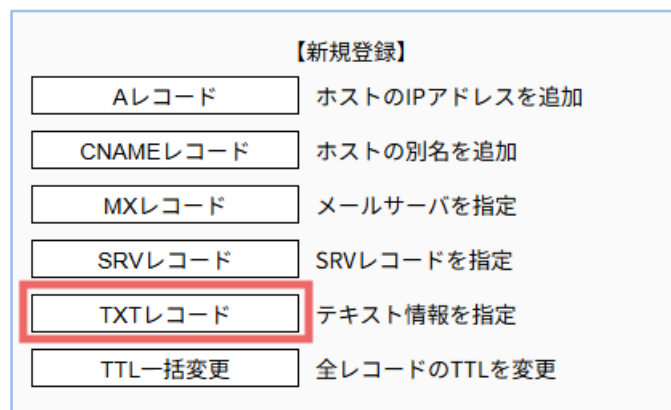
1. 「DNS 設定」をクリック

ドメイン管理画面にログインし、「DNS 設定」をクリックしてください。
「DNS 設定を開く」から設定・編集画面を開きます。



2. 新規登録の「TXT レコード」をクリック

画面左上の【新規登録】にある「TXT レコード」をクリックして、画面右上の編集画面に値を入力してください。



例： 初歩的な設定例

※自社で使用するメールアドレスに置き換えてください。

※値の最初と最後はダブルコーテーション「”」で

※タグとタグの間は、セミコロン+半角スペース「; 」で区切ってください。

※運用方法によって値はご変更ください。（サポート外となります）

【TXTレコードの登録】

ホスト名 .manual.aiosl.com

TTL

内容

「登録する」をクリックして更新します。

設定値が下記のように反映されているか確認をしてください。

変更	_dmarc.manual.aiosl.com	TXT	3600	v=DMARC1; p=none; rua=mailto:report@manual.aiosl.com
-----------------------------------	--	-----	------	---

主なタグと設定内容

- v: プロバージョン (v=DMARC1 と固定で最初を書く)
- p: 認証失敗時のポリシー (none: 監視、quarantine: 隔離、reject: 拒否)
- rua: 集約レポートの宛先 (mailto:アドレス)

本サービスのお問い合わせ先

TEAMWORKS 株式会社
J-web サポートセンター

E-Mail : support@jnetstation.com

TEL : 03-4231-8800 (電話受付 : 平日 09 : 00~18 : 00)

FAX : 03-4355-1112